【資料３】

令和年４年度
肝疾患診療地域連携体制強化事業における拠点病院の取り組みについて
～コロナ禍における活動～

【　事業内容　】

1. 肝疾患相談窓口の設置

面談及び電話相談の実施
（火・木・金　午前 10 時～12 時、午後 2 時～4 時）

2. 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会　（現地参加と Web のハイブリッド形式にて開催）

・委員：奈良医大附属病院及び奈良県中核専門医療機関の代表、県疾病対策課課長
・会長：奈良医大附属病院　吉治　仁志
・年 2 回開催（第 1 回　令和 4 年 9 月 16 日、　第 2 回　令和 5 年 3 月 17 日予定）

3. 奈良県肝炎医療コーディネーター活動支援

1）奈良県肝炎医療コーディネーター研修会（養成・フォローアップ）
令和 4 年 10 月 6 日　厳橿会館　　現地参加と Web 配信のハイブリット形式にて開催した。

①　養成研修会
・年 1 回県担当課と共催で開催　（H28 年度から開始）
・対象：市町村、保健所の担当者、医療関係機関の看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士、相談員等の専門職

奈良県肝炎医療コーディネーター認定者数　（内訳：現地 18 名、Web 41 名）

	看護師	薬剤師	臨床検査技師	理学療法士	管理栄養士	医療職員	保健師	行政職員等	計
R4 年度	18	14	3	0	0	8	15	1	59

②フォローアップ研修会（日本肝臓学会肝炎医療コーディネーター研修会）
受講者数　（内訳：現地 2 名、Web 17 名）

	看護師	薬剤師	臨床検査技師	理学療法士	管理栄養士	医療職員	保健師	行政職員等	計
R4 年度	3	10	1	0	1	4	0	0	19

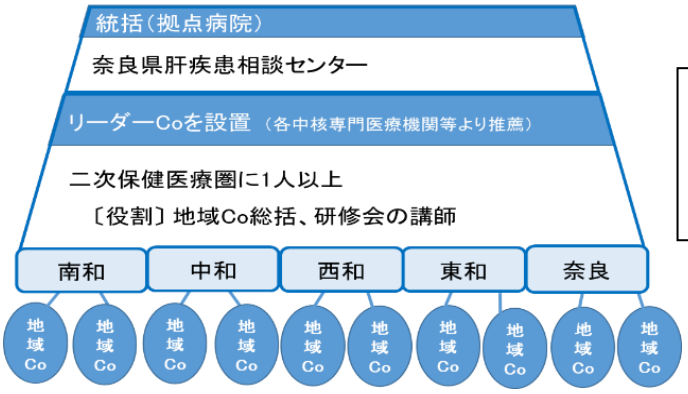
2） 肝炎医療コーディネーターに定期的に情報提供を行った。

① 従来のメールによる情報提供
② 奈良県肝炎医療コーディネーターLINE公式アカウントを作成し情報提供開始（令和４年７月）

- **研修会情報等を配信**
- **国や奈良県の肝疾患に関する情報とリンク**
- **知りたい情報へトーク画面から簡単にアクセス**

3）地域リーダーコーディネーターを設置（令和４年４月１日）

目的：コーディネーター活動の連携強化



R4年度は、７名（看護師２名、臨床検査技師２名、薬剤師１名、メディカルクラーク１名、キャスター１名）をリーダーコーディネーターに委嘱した

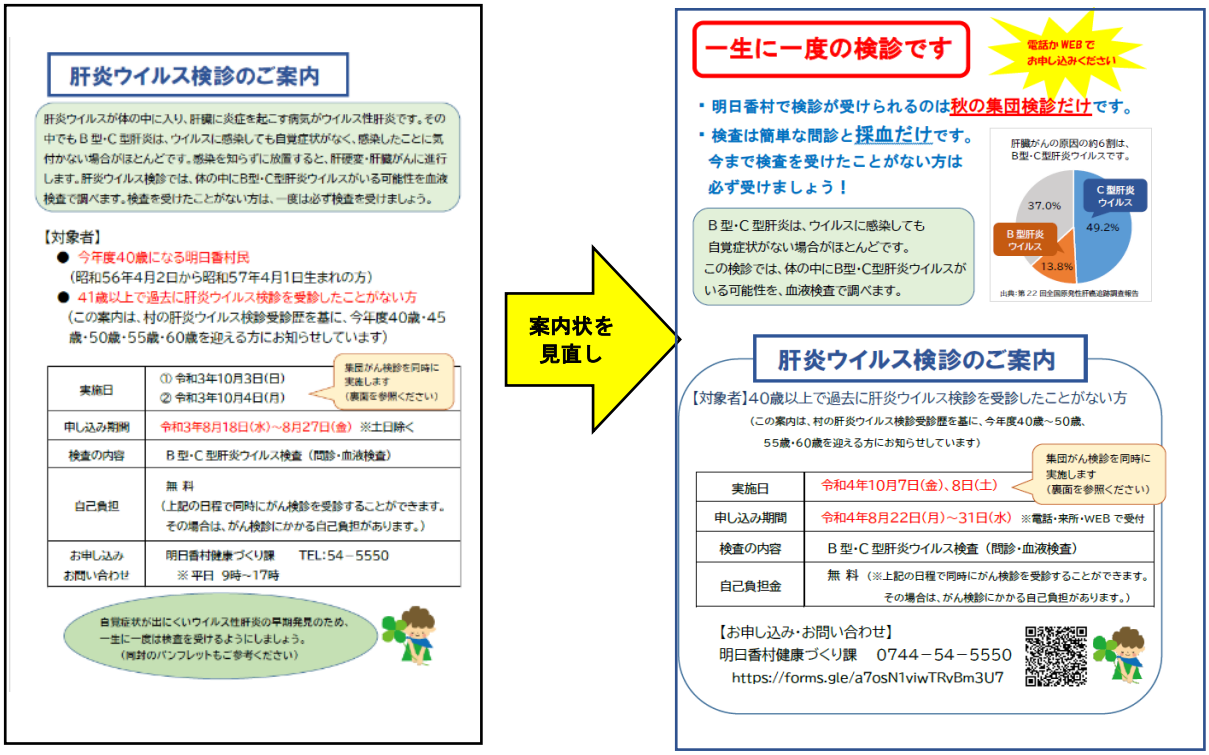
肝疾患相談センターとリーダーコーディネーターは、ZOOMミーティングやLINEを用いて、会議・連絡・意見交換を定期的に実施している

○奈良県肝炎医療地域リーダーコーディネーター会議
第１回　令和４年　８月 25 日（木）　Zoom 開催
第２回　令和４年 11 月 15 日（木）　Zoom 開催

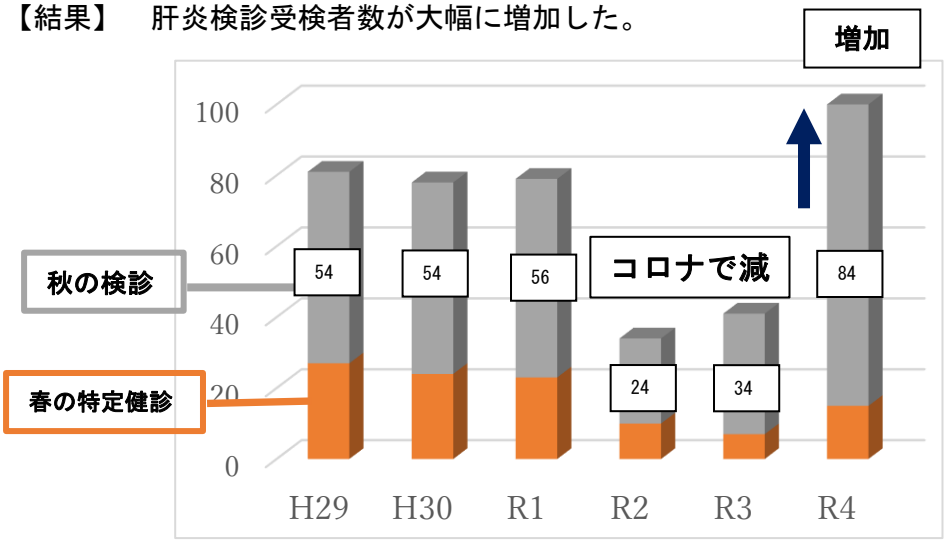
4. 市町村技術支援事業

・肝炎検査受診勧奨についての相談　２件　（香芝市、明日香村）
・啓発リーフレットと「なら肝体操」のリーフレットの配布（全市町村、保健所他）

明日香村の成功事例
・検診の案内状を変更し、ナッジ理論を用いた受診勧奨
・従来の電話申し込みに加えて Web 申し込みを開始した



【結果】　肝炎検診受検者数が大幅に増加した。



肝炎ウイルス検診受診者数推移

5. 地域連携事業

・奈良県産業医研修会（令和 4 年 6 月 30 日）
　「 肝疾患の早期発見と治療～職場における肝炎対策・脂肪肝も含めて～ 」
・奈良肝臓友の会面談（令和 4 年 11 月 1 日）

6. 普及啓発

１）新聞による啓発
　〇奈良新聞　「肝炎検査の啓発について対談記事　」（令和 4 年 6 月 29 日付）

大切な肝臓を守るために　対談

なるほど肝炎！@奈良マラソン　特別編

肝炎ウイルス検査のすすめ

早期発見・治療を

番組などで啓発活動

受検率アップ目指し

奈良県立医科大学教授　吉治　仁志氏

NHK奈良放送局リポーター　田中　愛理さん

　〇奈良新聞　「　奈良県肝疾患相談センター作成　なら肝体操紹介　」令和 4 年 6 月 30 日付）

なら肝体操

～毎日続けて身体も肝臓も元気に!!～

なら肝体操は全身の筋肉を鍛える効果があり、筋肉量が増え、肝臓の負担が減らせます!!

〇奈良新聞　「　肝炎ウイルス検査啓発　」（令和 4 年 11 月 11 日付）

２）オリジナル体操を作成し「なら肝体操」と名付け公開

目的：サルコペニアやフレイル予防により肝疾患の予後改善を目的とする。
・奈良県肝疾患相談センターで「なら肝体操」を作成し、YouTube と近鉄ケーブルテレビで公開。

・「なら肝体操」リーフレットを作成し、市町村、保健所等に配布（3,000 部）

3）奈良県肝疾患相談センターの Twitter を開設した。（令和 4 年 10 月）
　目的：奈良県肝疾患相談センターの存在の周知と正しい知識や情報を広く提供

7. 院内肝炎陽性者拾い上げ

目的：手術前検査等肝炎検査陽性者の院内拾い上げ強化。
電子カルテアラートシステムは肝炎検査陽性者の拾い上げに有用であるが、陽性者を確実に拾い上げることを目標とする。

方法：院内で実施された肝炎検査陽性者のうち結果説明などの事後措置が不明な患者を肝疾患相談センターの保健師が拾い上げ、検査依頼医へ電子カルテ内のメールにて連絡する。

結果：依頼医へ連絡した患者は、肝炎検査陽性者の約 16%であった。

8. ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業

令和 3 年度より、県疾病対策課が提供するフォローアップ対象者リストを元に、対象者に受診状況の確認等を実施し、確認した状況を様式に記入し、県疾病対策課に報告を行っている。

令和 3 年度：4 件